

キャンペーン
実施中!!

テックスワイプ TEXWIPE社製品の紹介

- TOC洗浄バリデーションキット
- クリーンルーム用スワブ
- クリーンルーム用ワイパー

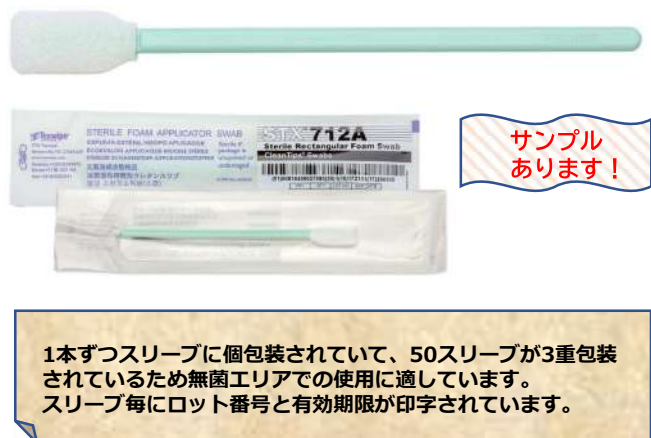
サンプルあります。御用命ください!

■ TOC洗浄バリデーションキット



コード	ST-TX3340	
材質	バイアル：ホウケイ酸ガラス キャップ：PP/PTFEセブタム (キャップカバー：PE) スワブ：ポリエステル（ヘッド） ポリプロピレン（ハンドル）	
入り数	1セット/箱	
セット内容	バイアル（40mL） （セブタム付キャップ）	12本入
	スワブ（TX714K） ヘッド部 ハンドル部 全長	24本入 幅12.7×厚み4.2×長さ25.7mm 幅5.2×厚み3.0×長さ101.8mm 127.5mm
	バイアル用ラベル	12枚
特徴	バイアル、スワブは特殊な洗浄が施されており、バイアルでは10ppb未満、スワブでは50ppb未満の低TOCレベルが保証されています。	
価格（税抜）	OPEN	

■ 滅菌クリーンフォームスワブ



コード	ST-STX712A	
材質	ヘッド：発泡ポリウレタン ハンドル：ポリプロピレン	
入り数	1本/スリーブ (50スリーブ/袋)	
サイズ	ヘッド 幅×厚み×長さ	12.7×7.8×25.7 mm
	ハンドル 幅×厚み×長さ	6.2×3.0×101.8 mm
	全長	127.5mm
特徴	ヘッド部は熱溶着されているため、接着剤による汚染リスクがありません。10 ⁻⁶ 滅菌保証レベルでガンマ線照射しています。	
価格（税抜）	OPEN	

■クリーンルーム用ドライワイパー

① TechniCloth テクニクロス



サンプル
あります！

- 推奨使用環境
ISO Class 5-8
クラス100~100,000
- 構造：スパンレース不織布
- 2重包装
- 端面処理方法：コールドカット

② Vertex バーテックス



サンプル
あります！

製造工程に人を介さず、完全自動化された環境（ISOクラス3）で製造されているため、品質が安定し、人が原因となる汚染の心配がありません。製薬工場等、よりクリーンな環境での使用に適しています（バーテックス製法）。

- 推奨使用環境：
ISO Class 3-7
クラス1~10,000
- 構造：ニット（一層）
- 2重包装
- 端面処理方法：熱シール
- 無人自動製造（バーテックス）

③ Alpha 10 アルファ 10



低
発
塵

サンプル
あります！

- 推奨使用環境：
ISO Class 2-7
クラス<1~10,000
- 構造：ニット（一層）
- 2重包装
- 端面処理方法：5mm幅熱シール
- 原反の自動洗浄（ベクトラ）

④ TexTra 10 滅菌テクストラ 10



滅
菌

高
吸
水

低
発
塵

- 推奨使用環境：
ISO Class 3-8
クラス1~100,000
- 構造：ニット（一層）
- 滅菌方法：ガンマ線
(滅菌保証レベル10⁻⁶)
- 2重包装 ■高吸水性
- 端面処理方法：5mm幅熱シール

製品名	① テクニクロス	② バーテックス	③ アルファ 10	④ 滅菌テクストラ 10
コード	ST-TX609	ST-TX49	ST-TX1010	ST-TX3224
サイズ	9" x 9" (23cm x 23cm) (*サイズ12" x 12" (31cm x 31cm)はお取り寄せ可能です)			
材質	45%ポリエステル 55%セルロース (不織布)	100%ポリエステル	100%ポリエステル	100%ポリエステル
入り数 (箱入数)	300枚/袋 (10袋/箱)	150枚/袋 (10袋/箱)	100枚/袋 (50枚/内袋×2) (10袋/箱)	100枚/袋 (20袋/内袋×5) (5袋/箱)
滅菌/未滅菌		未 滅 菌		滅 菌 済
端面処理方法	コールドカット	熱シール (シールドエッジ)	5mm幅熱シール (シールドボーダー)	5mm幅熱シール (シールドボーダー)
重量 (g/m ²)	69	130	130	233
吸水量 (mL/m ²)	360	450	320	600
特徴	2重包装になっています。 USP797, USP800の要件を 満たしており、一般的な 使用に適しています。	完全自動化された無人製 法により生産されている ため、人が原因となる汚 染リスクがありません。	2重包装になっています。 5mm幅の熱シール処理が 施されています。	ガンマ線滅菌済でクリーン バックされています。 吸水性に優れ、5mm幅の 熱シール処理が施されてい ます。
価格(税抜)	OPEN	OPEN	OPEN	OPEN

端面処理方法について

ワイパーの端面処理には、通常、刃物でカットするコールドカット（ナイフカット）方式と、レーザー等による熱でカットし、エッジを熱シールするシールドエッジ方式があります。さらに、エッジを約5mm幅に熱シールするシールドボーダー方式があります。

シールドエッジ方式およびシールドボーダー方式は、端面を熱シール処理することによって裁断面からの発塵を低減させます。特に5mm幅に熱シールされたシールドボーダー方式では、端面の繊維のほつれを溶着し、裁断面からの発塵・リントをより抑える効果があります。